

NETIS 登録番号：  
KT-220155-A

# 非破壊検査が 可能な補強土壁

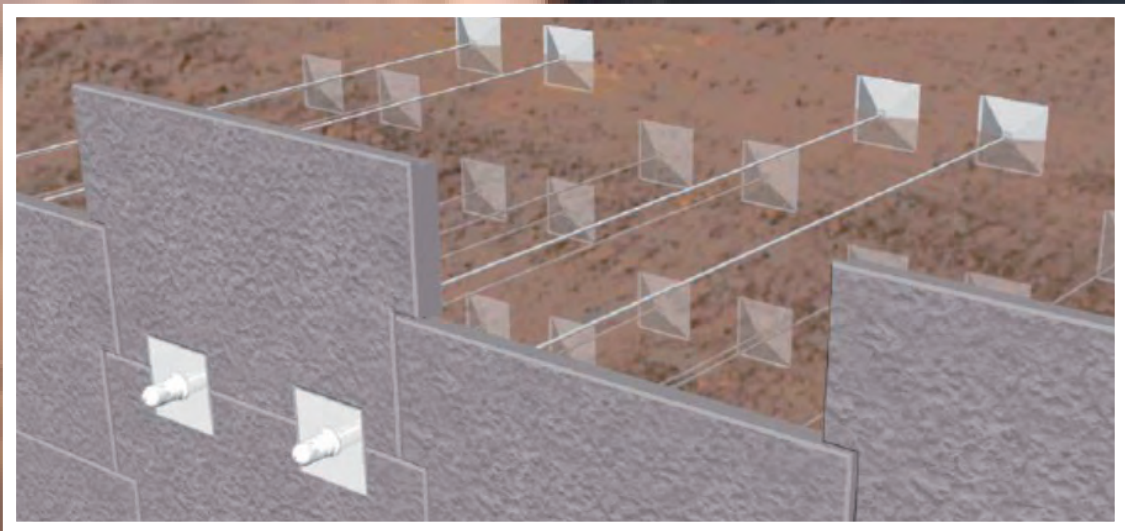
## 診断対応型 多数アンカー式 補強土壁工法

# NDパネル

Non-destructive Diagnosis panel

### NDパネルとは？

補強材の非破壊検査を可能にした多数アンカー式補強土壁用の壁面材及び補強材



### NDパネル（構造と技術概要）

多数アンカー式補強土壁工法では、補強材を壁前面から突出させて固定できる新構造の壁面材「NDパネル」と補強部材の開発によって、補強材の非破壊検査が可能となりました。点検結果に応じた診断や変状時の健全度評価が容易に実施できます。



## NDパネル（従来技術との比較）

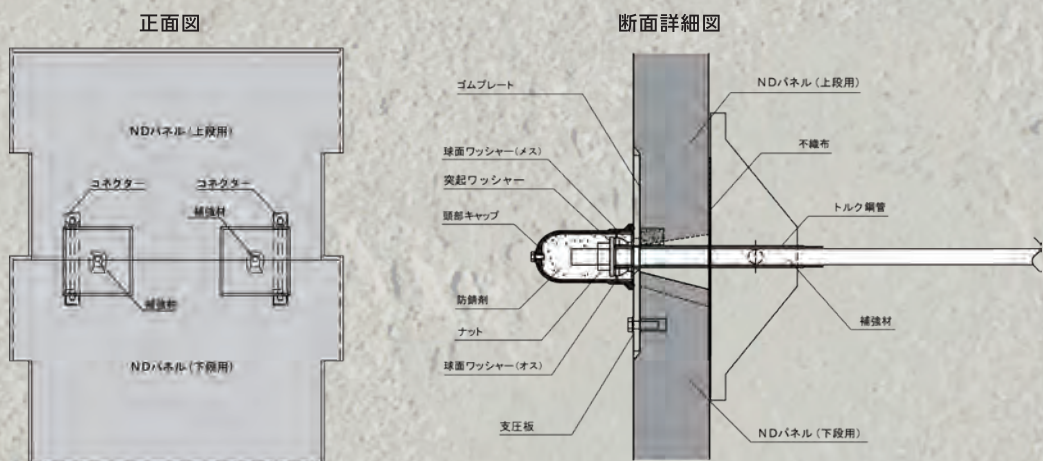
補強土壁の主要な構造部材の一つである補強材は盛土中に埋設されており、その損傷・破断・過緊張等の異常の確認をするために、従来は壁面材の一部を取り壊し、その箇所に敷設されている補強材を用いて引抜き試験等を実施する必要がありました。

NDパネルは、盛土中に埋設されている補強材の診断を非破壊での検査で可能とした専用の壁面材と補強材で構成される「診断対応型多数アンカー式補強土壁工法」です。

## NDパネルの特長

- POINT1** 非破壊での診断が可能な新構造の壁面材及び補強材。専用機器や特殊な治具を必要とせず、診断費用と作業時間を大幅に削減。
- POINT2** ダミー補強材ではなく、実際に構造を形成し機能している補強材を計測することで診断の正確性が向上。
- POINT3** 超音波探傷試験によって補強材の破断や欠損を診断することが可能。
- POINT4** リフトオフ試験によって補強材に作用している引張力・過緊張を診断することが可能。補強土壁の安全性の向上が図れる。

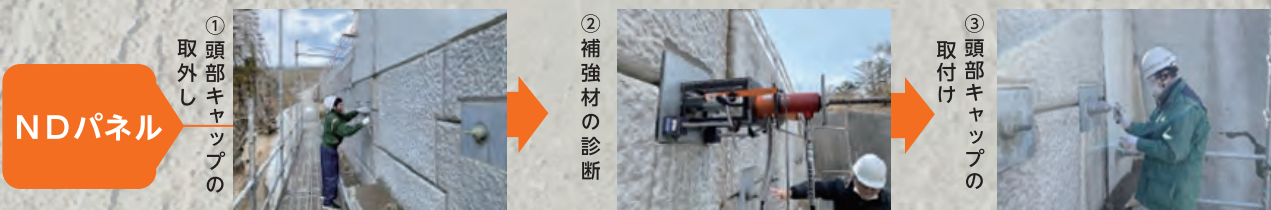
## 部材形状



## 従来技術との比較



壁面材の部分破壊が必要 → 費用と時間がかかる



非破壊で診断が可能 → 費用と作業時間の削減

設計段階（形式比較・詳細設計）での技術協力、積算、施工に関するご相談等を承ります。  
お気軽にお問合せ下さい。

問い合わせ先